

研究課題名 胸腺上皮性腫瘍切除症例における臨床成績と予後因子の検討に関する情報公開

1. 研究の対象

1991年1月1日より2021年6月30日の期間に名古屋大学医学部附属病院呼吸器外科にて手術を施行した、537例の胸腺上皮性腫瘍患者を対象とします。

2. 研究目的・方法

1991年1月1日から2021年6月30日の期間に名古屋大学医学部附属病院呼吸器外科（以下、当科と省略）で胸腺上皮性腫瘍にて外科的切除を施行した患者を対象とします。診療科データベースおよび診療録より予後情報を含む臨床データおよび画像データを抽出し、単変量および多変量解析にて再発危険因子や予後因子を検討します。

< 研究の目的・意義・背景 >

胸腺上皮性腫瘍切除患者の治療成績は改善傾向にありますが、未だ術後再発も多く満足のいくものではありません。予後不良因子を同定し、それらを基に新たな治療戦略の模索と治療成績の向上につなげていくことが本研究の目的です。

< 研究の科学的合理性の根拠 >

後ろ向きに疫学調査を行い、外科的切除が施行された症例の再発危険因子や予後因子を検討し、治療の有効性を解析することで、今後の治療に役立てることができると考えられます。

評価項目：年齢・性別・PS・喫煙指数・術前の検査データ（採血データ・心電図・呼吸機能検査・CTやPET-CT、MRIなどの画像所見など）、手術データ、切除標本の病理組織、免疫組織および遺伝子データ、予後データ、合併症データなど

研究期間 実施承認日 ~ 2026年08月04日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢・性別・PS・喫煙指数・術前の検査データ（採血データ・心電図・呼吸機能検査・CTやPET-CT、MRIなどの画像データなど）、手術データ、切除標本の病理および遺伝子データ、予後データなど

4 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器外科学 教授 芳川豊史 （研究責任者）

名古屋大学医学部附属病院呼吸器外科 病院講師 尾関直樹

住所 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-744-2375、ファックス 052-744-2382